

新佐賀県立病院好生館(仮称)移転新築事業 【設計概要】



地方独立行政法人 佐賀県立病院好生館

日建・三島設計業務特別共同企業体
(株)石橋建築事務所
(株)原田設計



青磁をイメージした磁器質タイルを用いた外観

病院の沿革

佐賀県立病院好生館は、安政 5 年（1858 年）第 10 代佐賀藩主 鍋島直正公により『好生館』と命名されました。『好生館』の由来は、中国の「書経」の一節である「好生の徳は民心にあまねし」によっており、最新の医療を必要な人すべてに提供してゆくというこの理念は、150 年の好生館の歴史において途切れることなく伝えられています。

明治 29 年（1896 年）に現在の呼称である『佐賀県立病院好生館』となり、佐賀県唯一の県立病院として、また、地域の中心となる基幹病院として、高度・特殊医療、救急医療、一般医療、医療教育等を担ってきました。

平成 22 年（2010 年）に地方独立行政法人に移行し、この度、既存施設の狭小化・老朽化に伴い、佐賀市嘉瀬地区に新築移転します。

計画概要

計画地

所在地	佐賀県佐賀市嘉瀬町大字中原
敷地面積	59,846.88 m ²
駐車台数	約 800 台：外来・職員用（内障害者用 12 台）

主要建物概要

病院棟(エネルギーセンター棟を含む)

病床数	436 床 個室率 37.4%
建築面積	13,321.33 m ²
延床面積	41,681.40 m ²
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 免震構造
階数	地上 8 階（一部 9 階）
最高高さ	40.60m
予定工事期間	2010 年 8 月～2012 年 12 月

研修・宿舍棟

戸数	病院職員 40 戸、患者家族用及び研修用 10 戸
建築面積	869.85 m ²
延床面積	2,770.79 m ²
構造	鉄筋コンクリート造（耐震構造）
階数	地上 6 階



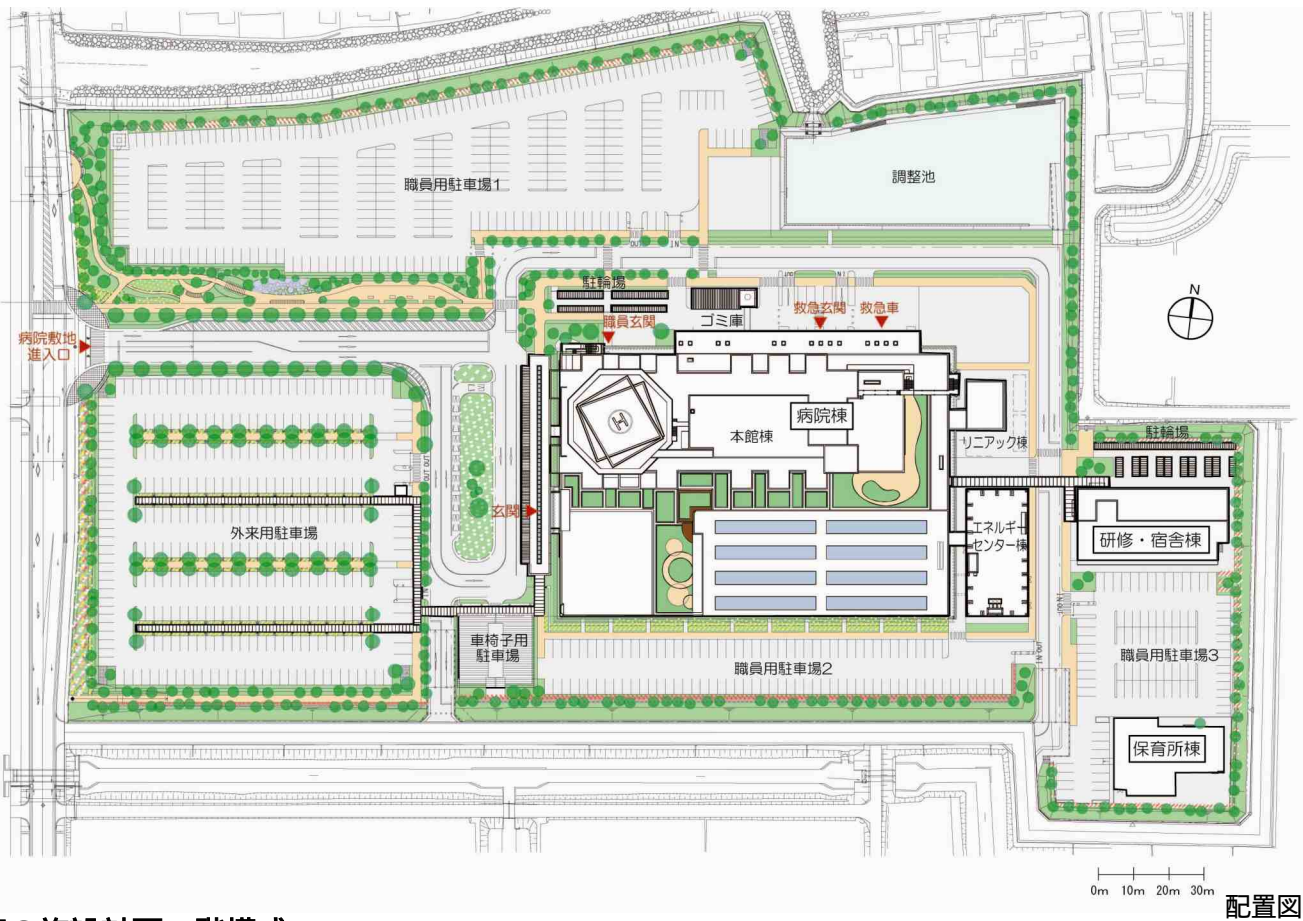
計画地の位置図

保育所棟

定員	30 名程度
建築面積	554.83 m ²
延床面積	448.58 m ²
構造	木造
階数	平屋建

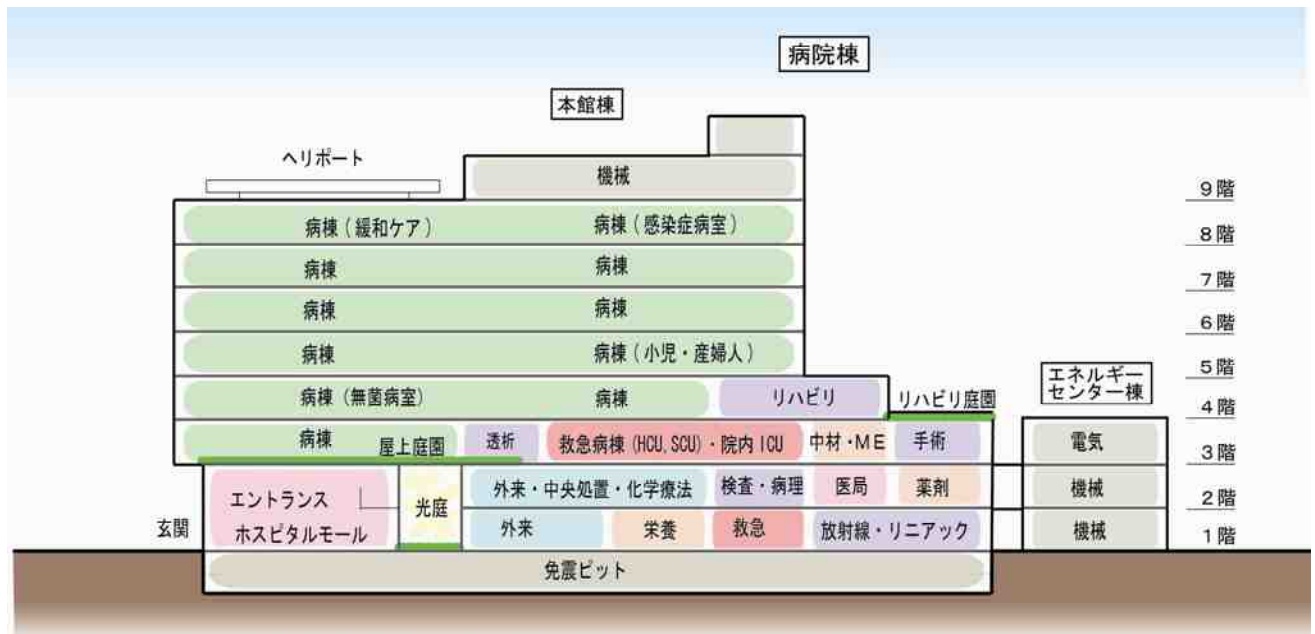
配置計画

- ・病院棟は北側の隣接住宅地に配慮し、計画地のほぼ中央で、南に寄せた配置とします。患者用主玄関は前面道路に対して正面となる西側に大きく構え、一方、救急、スタッフ、サービス出入口は北側に設け、両者を明確に区分します。
- ・西側のアプローチから見て奥にあたる敷地東側には、研修・宿舍棟、保育所棟を配置します。



配置図

病院棟の施設計画・階構成



階構成断面図

各階の主な診療施設の概要

- ・ 8階 感染症病室：8室、緩和ケア病棟：20床
- ・ 5階 NICU：3床、NICU後方：6床、MFICU3床、MFICU後方：6床、分娩：2室
- ・ 4階 無菌病室：10室、リハビリ室
- ・ 3階 手術室：9室、救急病棟：26床、院内ICU・HCU：14床、透析：20床
- ・ 2階 外来、化学療法：20床、生理検査
- ・ 1階 外来、救急外来、内視鏡、放射線：一般5室・透視5室・CT2室・MRI2室・血管造影3室、リニアック：1室

病棟計画

- ・スタッフステーションの周囲に4床室と1床室を交互に組み合わせて配置することにより、スタッフと病室の距離を短くした病棟計画としています。
- ・エレベーターホールから病棟への動線は、患者とスタッフとで区分し、動線が交錯しない計画としています。
- ・病棟各階にサテライトキッチンを設け病棟で再加熱・盛付・配膳を行うことで、入院患者への食事サービスを向上させます。
- ・4床室は各ベッドサイドに専用の窓を設け、患者アメニティーの向上を図っています。またトイレは車椅子の利用に配慮したゆとりあるスペースを確保しています。
- ・1床室はトイレの位置を工夫することで、廊下から病室内のベッドにアプローチしやすくし、さらに大きな窓の設置を可能としています。



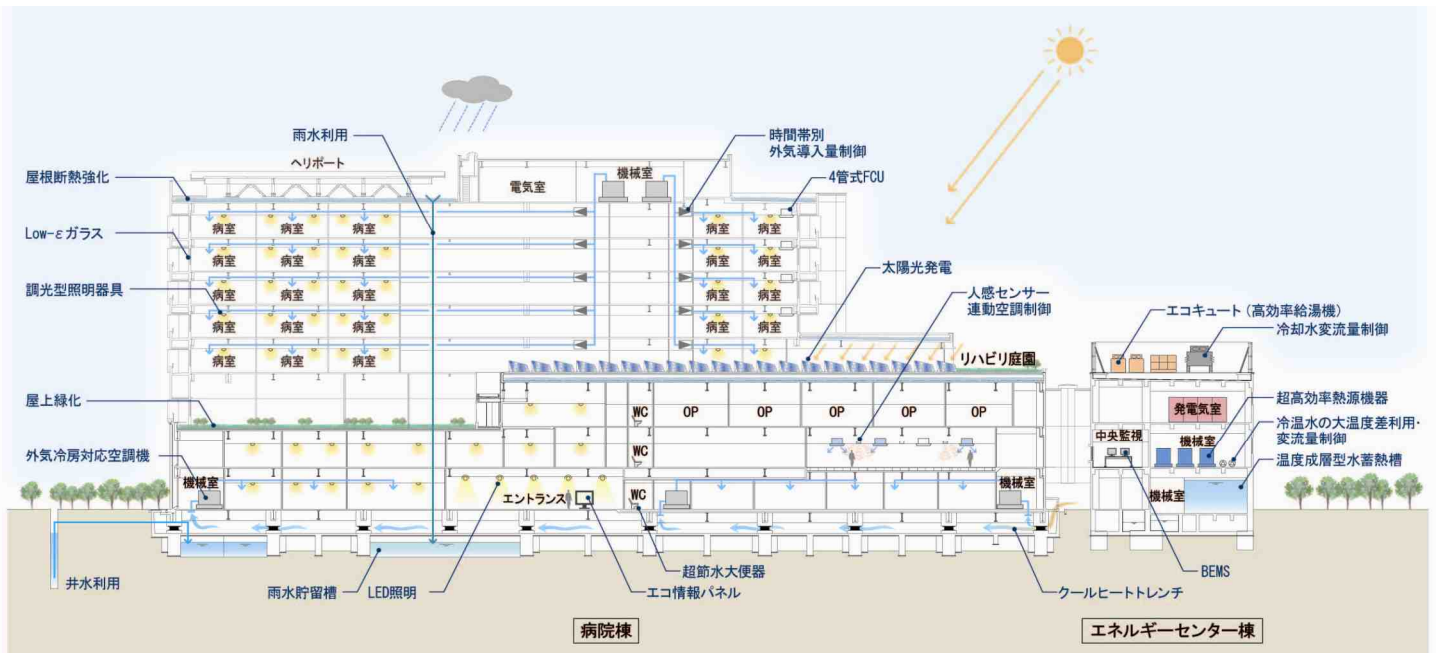
標準的な病棟の平面計画



4床室と1床室を交互に配置した病室

省エネルギー・省CO₂の取組み

- ・病院の最適な熱源構成、自然を利用する仕組み、経済性の良いシステムの採用により確実な省エネルギーを実現します。
- ・エコ情報パネルにより省エネルギー技術を地域に紹介したり、技術の相談指導を行うなど、プロモーション活動にも取り組めます。
- ・これらの取組みが認められ、国土交通省より平成22年度住宅・建築物省CO₂先導事業として九州で唯一採択されました。



省CO₂技術のイメージ図